

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公開番号】特開 2004-145339 (P2004-145339A)

【公開日】平成 16 年 5 月 20 日 (2004.5.20)

【年通号数】公開・登録公報 2004-019

【出願番号】特願 2003-358125 (P2003-358125)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

G 0 6 T 5/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/29 (2006.01)

B 4 1 J 2/525 (2006.01)

H 0 4 N 1/405 (2006.01)

H 0 4 N 1/52 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/01 S

G 0 6 T 5/00 1 0 0

H 0 4 N 1/29 G

B 4 1 J 3/00 B

H 0 4 N 1/40 B

H 0 4 N 1/46 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 16 日 (2006.10.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

黒色のみで印刷されるように要求された印刷出力媒体上のピクセル位置を識別し、
前記識別されたピクセル位置に黒色を電子写真印刷し、

各々の識別されたピクセル位置のうち、(A) 所定の非白色閾値レベルより暗い、関連の黒色ハーフトーン閾値レベルをもち、かつ (B) 少なくとも 20 パーセントのオン・ピクセル母集団と約 20 パーセントより少ないトナー転写効率とをもち非黒色カラーピクセルの基準パターンのオン・ピクセルに対応する、各ピクセル位置にのみ非黒色カラーを電子写真印刷すること、からなり、

前記基準パターンの非黒色カラーピクセルの各々は、少なくとも 1 つの非黒色カラーであり、ピクセル位置に対する前記少なくとも 1 つの非黒色カラーは、前記基準パターンの対応非黒色カラーピクセルの前記少なくとも 1 つの非黒色カラーによって定められる

ことを特徴とする印刷方法。

【請求項 2】

前記基準パターンは、約 20 パーセントから約 60 パーセントまでの範囲内のオン・ピクセル母集団と約 20 パーセントより少ないトナー転写効率とを有する非黒色カラーピクセルの基準パターンからなる、ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記基準パターンは、確率論的なハーフトーンスクリーンから得られる、ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記基準パターンは、分散ドットハーフトーンスクリーンから得られる、ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記非黒色カラーピクセルの基準パターンは、実質的に分離された非黒色カラーピクセルのパターンからなる、ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記非黒色カラーピクセルの基準パターンのオン・ピクセルの各々は、せいぜい 1 つの非黒色カラーからなる、ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記非黒色カラーピクセルの基準パターンは、複数の相互排他的な単一カラー非黒色カラーピクセルのサブパターンからなる、ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記非黒色カラーピクセルの基準パターンは、複数の単一非黒色カラーサブパターンからなる、ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。